

札幌社保協 FAXニュース

2007年 6月22日(金)
 社保協事務局 発行
 TEL823-0867 Fax821-3701
 E-mail:s-syaho@kin-ikyoo.or.jp
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護110番
 6月28日(木)です

税金 区役所へ 問い合わせ 約1万8千件

6/12～6/20まで

住民税が上がって「なぜ?」「間違いではないのか!」といった問い合わせが各区役所へ集中していますが、市税制部調査では6/12～20日までで、約18,000件になることが分かりました。区役所では「マニュアル」も用意して対応していますが、早々にあきらめる人がまだ多いようです。

今年度収入がなくなった人に大きな負担

住民税は前年度所得に課税されるため、今年から収入がなくなった人、退職した人には大きな負担です。今年3月で退職した60代の方は、10数万円の税が来て東区守る会へ相談に来ました。29歳の愛知県から帰ってきた若者は、4月以降友人宅に転がり込んでいましたが、6万円以上の税金通知が来て、友人の母親が心配して守る会へ相談をした例もあります。

所得激減者には、以前の5%税率に減額される経過措置減免というのがありますが、今年度の確定申告をした上で、来年7月に申告しなければ対象になりません。分割・納付猶予などで相談することが大事です。

各区で税金・国保相談会

北区社保協と守る会は6/24午後2時～、北区民センターで相談会、西区守る会は6/26午後1時～7時まで事務所で相談会。6/28は各区で国保・介護110番です。東区は区民センターのロビーに受付を出して、1階の部屋で相談会です。

	電話・来件件数
中央区	2,016
北区	2,233
東区	2,411
白石区	2,466
厚別区	1,070
豊平区	1,702
清田区	1,005
南区	1,178
西区	2,347
手稲区	1,411
本庁	136
合計	17,975

豊平区社保協一総会開く



豊平区社保協の第10回定期総会が6/9に開かれ、各団体の代表20人が参加しました。

渡部務年金者組合道本部委員長が「年金問題を知り、豊かな老後の保障を!」と年金問題を分かりやすく講演。加入団体の代表がそれぞれの活動報告を行ないました。

代表委員には、新たに伊藤義雄月寒医院院長が選ばれました。

差別医療だ! 一後期高齢者医療 年金者組合が各地で学習会



年金者組合は4/17に札幌支部協で開催したのを皮切りに、手稲区、東区、北区と各地で後期高齢者医療制度の学習会を開いています。

札幌社保協斎藤事務局長が講師で、医療改悪の内容と、後期高齢者医療制度の差別的な中身が紹介されると、いずれの会場も怒りでいっぱいでした。

北区怒りの区民集会



北区社保協は6/12に区民センターで、「札幌北“怒り”の区民集会」を開催し、各団体から50人が参加しました。

道生連佐藤事務局長が「住民税負担増とのたたかい」について、学習講演をしました。

生活保護の実態と国保・介護110番、税金相談会(守る会)、生活保護基準に満たない低い年金生活(年金者組合)、3900円の税金の滞納に「差押予告」を送ってくる税務署のやり方(民商)、75歳以上の差別医療である後期高齢者医療制度(勤医協)、市の公立保育園が減らされ民営化が進もうとしている(子育てネットワーク)、棄民・難民を生む政治を参議院選挙で変えて行きたい(共産党)など、各団体から今の負担増や社会保障改悪についての怒りの報告がされました。

集会はアピールを採択し、参加者で北24条駅周辺をデモ行進し、「増税・後期高齢者医療・年金問題」を訴えました。